



第10回 データの活用

- 1 四分位範囲と箱ひげ図 次のデータは、Aさんが10回受けた10点満点の英単語のテストの結果を1回目から順に並べたものです。このデータについて、次の問いに答えなさい。

16点×5 [80点]

3	8	6	9	5	10	7	5	4	10	(単位 点)
---	---	---	---	---	----	---	---	---	----	--------

- (1) 四分位数を求めなさい。



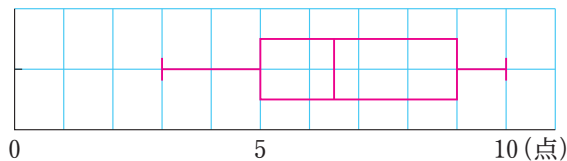
10個(偶数個)のデータを小さい順に並べる。前半部分と後半部分に分けて、それぞれの中央値を調べる。

- (2) 四分位範囲を求めなさい。

$$\begin{aligned} \text{(四分位範囲)} &= \text{(第3四分位数)} - \text{(第1四分位数)} \\ &= 9 - 5 = 4 \end{aligned}$$

(4点)

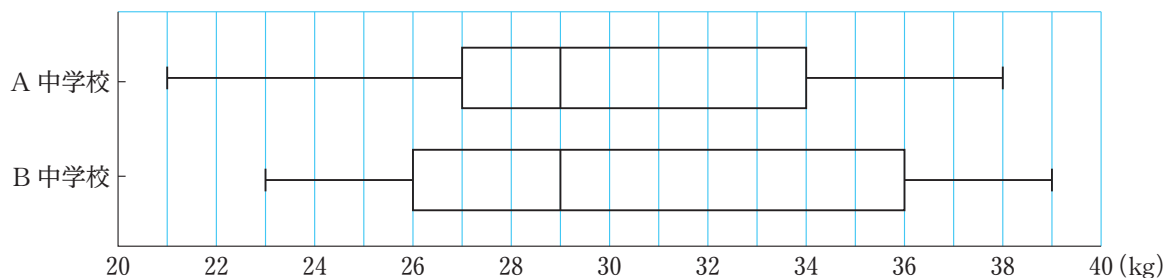
- (3) 箱ひげ図をかきなさい。



左右のひげの端をそれぞれ最小値, 最大値に, 箱の両端と間の線を第1～第3四分位数に対応させてかく。

- 2 データの比較 次の図は、A中学校とB中学校の2年生の男子それぞれ50人の、握力測定の結果について調べて、その分布のようすを箱ひげ図に表したものです。このとき、箱ひげ図から読み取れることとして正しいものを下の㉑～㉕から1つ選び、記号で答えなさい。

[20点]



- ㉑ A中学校のデータは、B中学校よりも四分位範囲が大きい。←範囲は大きいですが、四分位範囲は小さい。
 ㉒ B中学校のデータの平均値は29 kg である。←中央値は29 kg だが、平均値は読み取れない。
 ㉓ どちらも29 kg 以上の生徒が25人以上いる。←中央値がいずれも29 kg なので、正しい。
 ㉔ どちらも39 kg の生徒がいる。←A中学校の最大値が38 kg なので、A中学校に39 kg の生徒はいない。

(㉓)